有機農業の取組☞ No.27

有限会社　肥後あゆみの会

令和４年３月現在

＜基本情報＞
所在地：熊本県宇城市不知火町
（令和2年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール生産局長賞受賞）
＜農場概要＞
- 16ha（うち有機JAS認証13ha トマト、ショウガ、柑橘等）
- 2015年に自社加工所を設立し、トマト、ショウガ、柑橘等の加工品を生産（加工所は、有機JAS加工食品の認定取得）

＜有機農業に取り組むきっかけ＞
- 「農業は自然を守る産業であること」という信念のもと、有機栽培で自立できる農業を目指し、町内で有機農業に取り組んでいた澤村氏を中心に、2001年に柑橘農家4戸、野菜農家2戸の計6戸で設立。2003年に法人化。
- **平成１０年（1998年）に有機JAS認証取得を開始し、現在、施設と露地の全ほ場にて有機JAS認証を取得。**

＜販売について＞
- 販売は、生協関係と量販店に約５割程度ずつ出荷。また、少量ではあるが、県内の直売所や自社オンラインショップでも販売。
- 都市圏へ空荷で帰るトラックに着目し、運送会社との提携により、帰り便を積極的に利用することで、効率的に出荷するとともに出荷コスト削減

＜消費者への情報発信について＞
- 年に１回、消費者等との交流を目的にほ場見学、農業体験ツアーを開催。
  小売店と協力し、生産物に対するアンケートを実施し、消費者ニーズを把握。

【お問合せ先】TEL. 0964-33-7240
ホームページ：http://higoayuminokai.co.jp/

＜病害虫対策・除草対策・土づくり＞
- 病害虫対策
  腐敗するような資材は投入せず、虫害発生が少ない時期に栽培。
  ハウス内は加湿状態としない等の環境負荷をかけない栽培を行うことで病害虫を抑制。また、タケノコや山菜等から抽出した天然エキスを使用。
- 雑草対策
  通路や畝の上にカヤやわらを敷くことにより、雑草発生を抑制。
- 土づくり
  土壌バランスを重視し、野草堆肥及びボカシ肥料を施用。
  野草堆肥は、２年程熟成。また、ボカシ肥料は米ぬかを中心に魚粉やカキ殻等加え、自社肥料製造施設で製造。
  土壌分析に加え、野草堆肥とボカシ肥料の成分分析も毎年実施することで、土の状態を常に把握するよう努めている。

＜苦労したところ＞
- 有機栽培を始めた頃は、販路拡大のため積極的に売り込んだがうまくいかなかった。その後の品質向上により自然と販路が拡大した。

＜今後の展開＞
- 主作物のトマトは、4～6月出荷を主な作型とし、塩トマトが収穫できる海岸地域は、11～5月出荷としている。
  近年、高原地域（阿蘇）で夏秋栽培開始し、周年出荷を目指す。